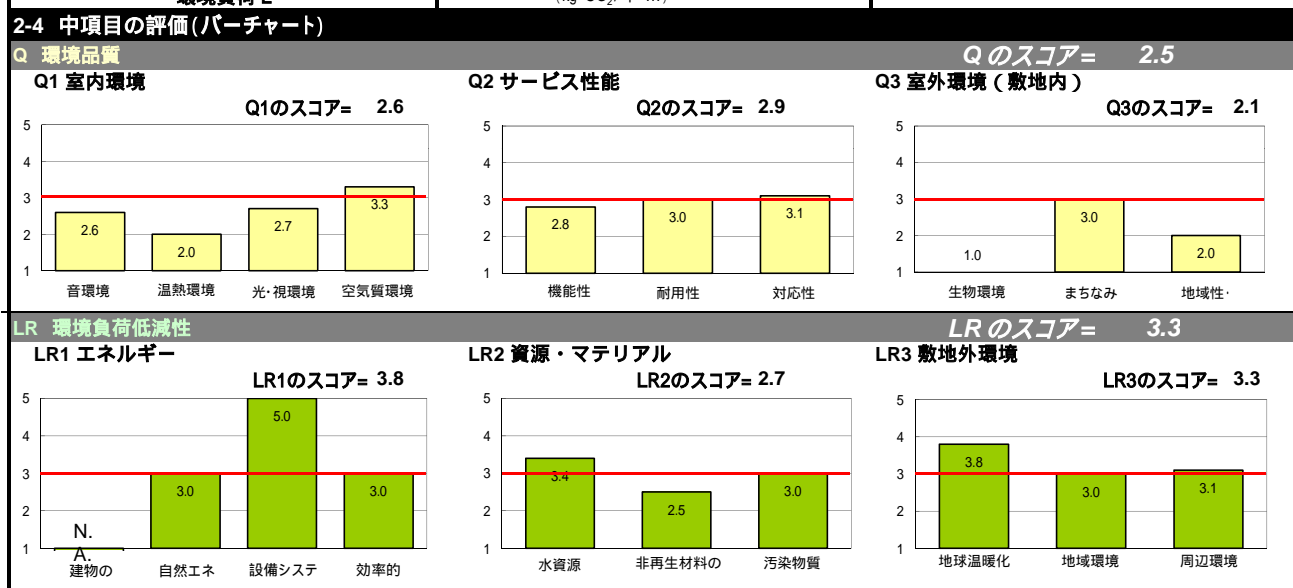
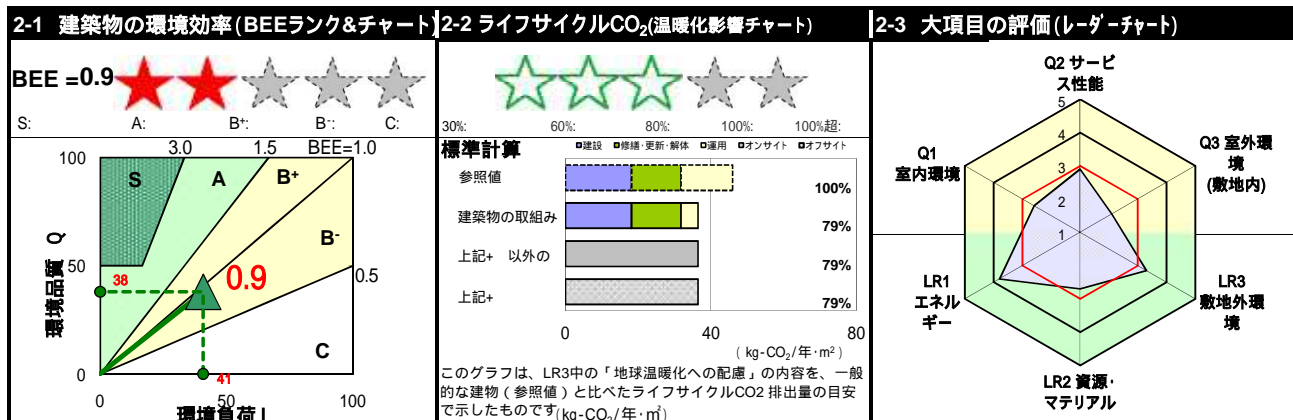


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関東冶金工業(株) 第2工場棟	階数	地上3F
建設地	平塚市四之宮3-2531-2他9筆	構造	S造
用途地域	防火指定なし、第4種高度地区	平均居住人員	20人
気候区分		年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年2月3日
敷地面積	2,617 m <sup>2</sup>	作成者	藤木工務店東京支店
建築面積	1,733 m <sup>2</sup>	確認日	2014年2月7日
延床面積	2,360 m <sup>2</sup>	確認者	藤木工務店東京支店

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
標準的な工場建物と同等の環境設計の配慮をした。	建設工事において廃棄物削減・リサイクルに取り組む。	
<b>Q1 室内環境</b> 標準的な工場建物に適した室内環境となるよう配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 自社の工場建物として使い勝手をふまえたサービス性能とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 道路境界側への緑化に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備システムの高効率化の配慮をした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物が敷地外環境へ与える影響を標準的工場の基準となるよう配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される